

おんが

発行所 遠賀町役場
編集発行 遠賀町庶務課
印刷所 稲田印刷

余日少ない

昭和四十二年度をかえりみて!!

遠賀町長 小川 登一郎

十数年ぶりという、度々の豪雪と酷寒を経て、ようやく春の息吹きをおぼえる好い季節となりました。歳月の流れはまことに早く、本年度も早や残り少なくなりました。

今になり過ぎし本年度をかえりみますと、四月の地方統一選挙を経て以来、なすべき幾多の仕事をかゝえ

町財政の乏しき中にも、土木事業としては、花園、尾倉線道路の拡幅整備、遠賀川駅前道路の舗装、柳田川の浚渫、山手線北部道路の一部舗装、県道遠賀、鞍手直方線浅本地区の舗装、県道黒山、広渡線尾崎地区の舗装、西川瀧水防除工事、国道三号線、遠賀川堤防芦屋直方線の遠賀川及び別府

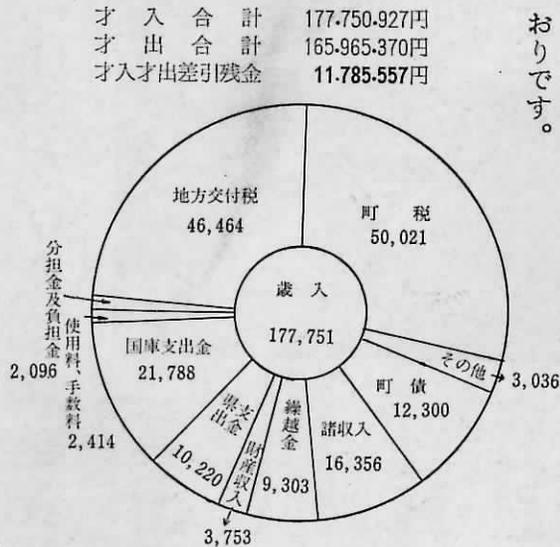
地区に歩道設置等、文教施設としては、昨年春不慮の災禍にあい、焼失しました島門小学校体育館の再建、浅木小学校防音校舎の第一期工事、遠賀中学校創立二十周年記念事業として、国道三号線からの取付道路の完成、尚記念事業委員会の事業として、中学校運動場外柵の御寄贈をいただく等

町内の土木、文教施設等を着々と整備して参りましたが、これ等については、新年度も引続き、継続的に進めて参りたいと思つてい
ます。
新年度の重要施策としては、別府高瀬間道路の拡幅整備、浅木学校防音校舎建築第二期工事の完成、町営住宅の建設、水道拡張事業、北部山手線の舗装、県道遠賀鞍手直方線虫生津地区の舗装、県道黒山広渡線松ノ本地区の舗装、芦屋鉄道の県道化促進、西川瀧水防除ポンプの操業、遠賀農芸高等学校の建設工事促進、産房地の開発促進等など前途にもたくさんの問題を控え、こゝに本年度が終らんとしてい
ます。
今後これらの推進、完成のためには、一層の努力を傾注し、以つて明るく希望に充ちた町造りを期したいと思つてい
ます。

昭和四十一年度決算状況

(一般会計)

本年二月に開催された昭和四十三年第一回定例議会で昭和四十一年度決算が認定されました。大要は左記のグラフのとおりです。



単位千円

町民の動き

1月 月末

2,151世帯
男女計 8,942人
男 4,286人
女 4,656人

2月 異動

2世帯増
男 8人
女 1人
計 9人

2月 月末

2,149世帯
男女計 8,951人
男 4,294人
女 4,657人

合計 177,750,927円
合計 165,965,370円
差引残金 11,785,557円

4Hクラブ員体験発表



農業一年目にして早くも異常干魃を体験し農業のむづかしさを痛切に感じたが今後色々な困難も起り得ると思われるが座折しないよう頑張りたい。

三、門司武光

トマトの二段摘芯について

一昨年までは人と同じ方法で栽培をしていたが、農業雑誌によりこの方法でやる事にした。小田ハアールに栽培し目標収量の六〇%を確保、将来はハアール五トンを目標にしている。

栽培方法の長所、短所としては

①長所
イ、高価額の時期に集中出荷(六月三日〜七月三日)
ロ、ビニールマルチに依り

(1)肥料流亡少

(2)除草不要

(3)地温が上る為定植後活着が早い

(4)栽培期間が短い為病害少

(5)草丈が低い為農薬散布容易

②短所
(1)密植栽培の為苗が多量に必要しかも定植に手間がかかる

(2)ビニールマルチをする為追肥がやり難い

(3)本数が多い為ホルモン処理の手間がかかる

(4)葉数が少ない為ひやけ果が出来易い(尻り割れ)

(一〇アール六、〇〇〇本)

四、畑生敏士：

白菜の出荷について

一一名で組合を結成し北九州く別府く佐賀く四国へ出荷 播付面積は大体一〇

町 四一年度売上高五〇〇万円 四二年度は一、五〇〇万円と伸ばした。今後は農協を通じ市場開拓にあたり特産物としたい。

五、松井 登：

僕の考える農業

現在の農業の有り方を根底から切り換えたい。それには相当の決心がいると思ふが徐々に変えたい。

六、高崎正和：

僕の理想の女性

1 自分を利用しきれぬ女性農村に於ける嫁不足の問題の根源はどこにあるだろうか。例えば娘は農家に嫁がせたくない。しかし長男の嫁には農業をさせる。こんな虫の良い話があるだろうか。

又嫁を受入れる態勢が果して現在の農家には出来ているか。嫁を迎えそれによつて家族労働の解消と考えている家庭が大部分ではないだろうか。それでなくても主顧労働の過重が叫ばれている昨今、主婦の立場を改めて改善する必要があるのではなからうか。

2 一方農家に嫁ぐ場合としては経営者の一員として家庭に入つてほしい。

3 農業には相当開拓出来る未知の世界がある。

七、井口直孝：

私のハウス栽培について

昭和三九年二〇〇坪昭和

二〇〇坪

四〇年五二〇坪のハウスを建設。栽培体系は胡瓜、ホーレン、春菊を作付。ハウスは屋根があり冬暖く二ヶ月胡瓜を栽培し集中的に労力をかける。

ハウス栽培の特長として自動灌水装置を取りつけ灌水と同時に液肥を使用、肥料の九五%が液肥を利用、育苗と定植時には電熱を利用し、土壌病害対策としてクローリングで年一回土壌消毒を行う。

昭和三八年頃と比較して改善された点は、作目を五種類にしぼり、ハウスと露地の組合せによる経営の単純化、作業場が近いため、作業の分業化も出来、ハウスを取り入れた事により労力が平均化出来る天候に左右される事なく計画的に仕事が出来た。

昭和三八年当時比べ一人当りの労働生産性が高くなった。

今後の問題点として

①連作の害。対策として輪作(葉菜+果菜) 胡瓜の接木栽培、土壌消毒、塩類集積の検査、砂栽培等によつて解決していきたい。

※経営内容

S三八年 水田一九〇a

畑八〇a 自家努力三、五人 年雇二名 臨時二〇人

S四一年 水田一九〇a

畑六〇a ハウス七二〇坪

自家努力二、八人 年雇二名

名 研究生二人 臨時三〇名

二〇〇坪

現在農業経営は父の農業経営であるが一日も早く正しい農業技術を習得し自分の農業経営に切り換えて行きたい。

田二三〇アール畑九〇アールを耕作している。

二、多頭飼育

三、機械化の促進

四、生活の安定化

五〇頭を目標。

二、松井 悟：

農業一年生

☆窓ガラスのくもりはふきとつて
まだ寒い日が続いています。車を運転しているときガラスがくもつていては危険です。窓ガラスをしめきつていまずと、外からの音がなかなか耳にきこえてきません。それだけに、道路上の状況には、一段と注意しなければなりません。踏切の直前で一時停止をしても、窓ガラスがくもつたまま盲だけを左右に動かして発進しても、人を発見できません。これでは何のための一時停止かわかりません。ガラスのくもりは、必ずふきとつて運転することです。また、進行中に大きく手をのぼしてくもりをふいている人もありますが、これも危険です。必ずとまつてふきとるよう心がけましょう。車を運転するときは、周囲の安全が確認できる状態で運転することが、事故をおこさない方法のひとつです。(県警察本部広報)

四三年度町県民税の申告について

右のことに關して詳しいことは二月号の町報で皆様方にお知らせしましたが、特に左記の点に留意して下さい。

一、提出時期及場所

三月十五日までに役場稅務係あてに提出して下さい。
 二、もし申告しなかつたとき
 所得控除をしませんので余分の税金を納めなければなりません。

春の火災予防

春先は一年中で火災が一番多い季節です。冬から春にかけては、例年異常な乾燥と強風がつづき、ふつうなら消えてしまうような小さな火でも火災になりまた出火すると大火になります。このため、二月二十九日から三月十三日まで春の火災予防運動が全国いつせいにわたって行われています。

福岡県では、昨年四十六人が犠死しています。かりに、自分の家から火災がこり、隣に延焼し、死者が出たと考えてみて下さい。考えるだけでぞつとします。

火災を予防し、火災から身を守るためにつぎのことに注意しましょう。

寝ているときの火災は死者を多く出しています。寝

る前は必ず火の元を点検して下さい。寝たばこやたばこの投げすても危険です。ときどき家族みんなでお火の手順を話し合つておくことも大切です。また消火器や防火用水、バケツなどを備えておきましょう。ふろにいつも水を入れておくのもよい方法です。

旅館、ホテルなどを利用するときには、避難経路や非常口、消火器などの位置を確かめておきましょう。

また、山野に出かけるときは、たばこの吸いながらやマッチの燃えさし、たき火にじゆうぶん注意しましょう。なお、原野、山林に火入れするときには、役場に届けて下さい。

火災に気づいたら、すぐ役場に連絡して下さい。
 (県消防災害課)

北九州地区の

四二年産稲作の反省

県下の稲作は、佐賀県に次ぎ初めて五〇〇キログラムを越す記録を作り、北九州地区も近年にない干ばつであつたのに、稲作有史以來最高の四三三キログラムに達しました。

第一表は三八年から四二年の水稲一〇アール当り収

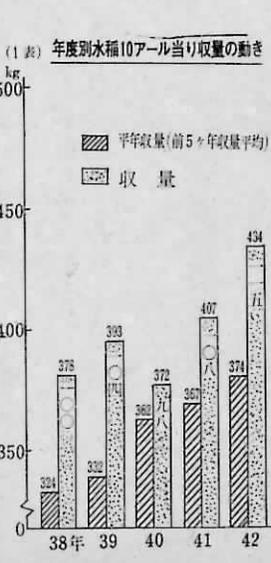
量の動きですが、四二年の作況指数は一一六パーセント、三八年を一〇〇としますと、一一五パーセントに増えています。

こうした本年の増えた要因を考えて見ますと、

- 1 気象の生産効果
- 2 技術の生産効果

3、土地の生産効果
 右の三点に集約することが出来、土地の生産効果は前年と変わらないとすれば、気象および技術面の生産効果となります。

1 気象の生産効果
 苗代期には、平均気温は平年より高く最低気温は平年より低いことで、苗代の生育初期にかえつて抑制された。(抑制された年は近年収量向上の指標となつています)
 七月上旬から平年以上の気温に上昇し、最高分



第二表の水稲坪刈標本調査成績表によりますと、栽植密度一平方米当り一八、〇株は平年に比べ五パーセント増え、密植適応性で一平方米当り有効穂数三三三本は平年に比べ一三パーセント増えたこととなります。

ホーヨーク・シラスイの普及と品種に適した施肥効果の向上と、多肥による害が少なかった。

以上の気象・技術面の生産効果を見ますと、合理的設計栽培が行われたといえそうです。

その外干害による被害田を除けば、間断灌水の結果

下葉の枯上りがほとんどないことは根の活躍が充分出来ることで、稲の生熟から見て登熟に効果があつたと思われれます。また穂肥、実肥の適切であつたことも考えられますし、用水高湿により穀枯病の多発をみまし

けつは平年になく増え、また米を作る幼穂形成が真好に経過した。
 九月上旬は低温に経過しているが、多照であつたため平年並の生育となり、日中高温夜低温で例年になく登熟に有利であつたようです。

2 技術の生産効果
 品種の選択は、ホーヨーク、シラスイが増え、アリアケは減つて、晩生から中生種へ、中生から早生種へと変つていく傾向となつています。

たが用水不足であつたこと自体が農薬と相まつておきえられ、なお台風被害もたいたことはなかつた。

こうした経過を見ますと本年の稲作は気象生産効果と、技術生産効果が合致して豊作の要因となつているものと考察されます。

今後は気象生産効果は別としても、技術生産効果が普及指導員・営農指導員に充分相談をされ、なお一層の生産意欲をもつて一〇アール当り六〇〇キログラムに早く到達してほしいものです。

(2表) 年度別水稲標本調査成績表

	38年	39	40	41	42
1㎡当株数	17.1	17.3	17.7	17.5	18.0
有効穂数	289	317	310	297	323
全粉数	100	240	245	228	270
平均1穂当全粒数	83.2	77.4	73.4	78.8	82.1
千粒当収量	16.1	16.7	16.3	17.6	19.7
10アール当収	387	393	372	407	434

昭和四十三年度入学公立高校 出願者数調

高校名	課程	出願者		備考
		男	女	
東 筑	普通	9	3	12
宗 像	普通	21	16	37
折 尾	商業	4	6	10
八幡工業	機械	2	2	6
戸畑工業	建築	4	4	4
古 賀	普通	2	3	5
遠賀農芸	農業	4	3	4
筑 豊	商業	1	1	1
香椎工業	工業	2	4	1
	合計	2	2	2

四十二年三月二十三日現在

新入学（園）児の交通事故防止に つとめましょう！

- ◇卒園するお子さんに小学校の通学路をおしえ、危険箇所
の歩行の方法をしつかり身につけさせましょう。
- ◇道路の横断のしかた、とび出しの危険についてくりかえ
し指導しましょう。
- ◇幼児の一人あるきは危険です。みんなで保護して守りま
しょう。
- ◇各学校では、新入生の交通事故防止対策をたて万全をき
ましましょう。
- ◇通学路の点検、新入生の指導、管理の体制をかためま
しょう。

印鑑登録は本人が届出るように しましょう

- 一、印鑑登録（改印）の届
出は重要なものですから
本人ができる限り役場に
来て下さい。
- 二、代理人による届出の場
合は、同時に印鑑証明の
発行ができない場合もあ
りますので、この点充分
ご承知して下さい。
- 三、登録した印鑑は認印と
區別して大切に保管して
下さい。
- 四、登録する印鑑には氏だ
けでなく名も入れるよう
にしましょう。
- 五、印鑑登録の保証人にな
られる方は、登録する本
人から直接印鑑登録の意
志表示がないと保証して
はいけません。

◎転入、転出、転居等の届出励行を

—必ず定められた期間内に—

- みなさんの居住関係をは
つきりして、公証や、選挙
人名簿の登録のための基礎
とするため、いままでの住
民登録法にかわり、あらた
に住民基本台帳法が施行さ
れました。
- 戸籍または住民票の謄抄
本、その他の証明書の交付
等については、従前と変り
はありませんが、つぎの諸
届出については、特に正確
さを要求されますから、転
入、転出、転居等をされる

一日交通事故相談所

右のことについて左記のとおり開設されるので多数御利用
されるようお知らせします。
と き 三月十八日 九時から十六時まで
と ころ 宗像町役場会議室

人権擁護委員推進について

前人權擁護委員の矢野定
岳氏が昨年十二月十四日
付をもって任期を満了され
たので後任委員として長崎
真敷氏を推薦しましたので
お知らせいたします。

御承知のように人権擁護
委員は基本的人権を擁護し
自由人権思想の普及高揚を

図ることが根本任務であり
ますので、遠慮なく心配ご
と、なやみ事等を御相談い
たされるようお知らせしま
す。

現委員
今古賀 柴田 勇氏
虫生津 長崎真敷氏